

Pulse Policy Secure

次世代ネットワーク向けのセキュアアクセス

クラウドやデータセンターにある企業リソースに安全にアクセスするユーザーおよびデバイスをキメ細かく可視化し制御します。



概要

BYOD、クラウドコンピューティング、ソーシャルメディア、ビッグデータなどによるIT変革は、現代の進化する企業ネットワークへの刺激剤となる一方で、企業のモバイルワークスタイルの確立が引き続きIT管理者にとっての最優先課題となっています。

モバイルワーカーはクラウドにあるアプリケーションへのアクセスを必要としているだけでなく、ラップトップ、タブレット、スマートフォンの柔軟性と生産性を求めています。

同様に、現代のワーカーは新しい創造的なワークスタイルを模索し続けているため、IT管理者は既存のネットワークインフラストラクチャやセキュリティポリシーを絶えず見直しています。コンテキストを意識したアクセスおよび制御は、企業データを安全かつ業界標準に準拠させるだけでなく、高パフォーマンスのネットワークを維持するためにリソースのバランスを取ることが優先課題となっています。

解決される課題

コンテキストを意識したセキュリティ
ダイナミックなポリシー施行およびコンプライアンスのための詳細な可視化と制御 (図1参照)

セルフサービス型BYOD
パーソナルデバイスの設定や Wi-Fi、VPN などのソフトウェアを設定するセルフサービス型オンボード

簡単なゲストアクセス
簡単な自己登録によるゲストユーザーのアクセス制御機能の強化

エンドツーエンド コンプライアンス
エンドポイントからデータセンターまでの包括的な管理により、オンデマンドで修復しながら不正なデバイスやアプリケーションを識別

セキュリティインテリジェンスと次世代ワーカーの出会い

次世代のスマートデバイス、クラウド対応のアプリケーション、インターネット対応のウェアラブル端末の急速な導入など、ITのコンシューマ化により、働き方が変わり続けています。

ITはテクノロジーの変革速度に合わせて、ユーザー認証、デバイスの健全性、アクセス方法に基づいたポリシーを使用して、エンタープライズデータへのアクセスを制御する、柔軟で強力なフレームワークが必要です。



マルチベンダー互換性

Cisco、HP Aruba、Ruckus Wireless LANコントローラー、さらにその他のネットワークスイッチやファイアウォールとの互換性



セルフプロビジョニングによるオンボーディング

既存のMDMソリューションと統合できるリモートまたはオンサイトのオンボーディングを提供して、BYODを単純化



ウィザードおよびカスタマイズ可能なテンプレート

NACソリューション展開の合理化



固有のユニファイドクライアント

リアルタイムに状態の評価を行い、常にパフォーマンスを維持



ネットワークIQエコシステム

包括的な可視性とネットワークインテリジェンスデータへのルートを提供するコンテキスト共有アライアンス



柔軟なプラットフォーム展開

Pulse Secureアライアンスまたは仮想アライアンスのどちらでも利用可能
トラフィックフローモードは802.1xまたはSNMPに対応

セキュアアクセスについてじっくり考えると、パルスセキュアになる。

従来のセキュリティソリューションは複雑過ぎるため、モバイル利用における生産性を阻害しています。Pulse Policy Secureを使用すれば、IT管理者は企業リソースを保護するための、新しい包括的なアプローチが簡単に手に入ります。



Connect Secure

+



Policy Secure

+



Pulse Workspace



詳細は以下をご覧ください www.pulsesecure.co.jp/policy-secure/overview

当社へのお問い合わせは、以下をご覧ください。 <http://www.pulsesecure.co.jp/contact-us>

バージョン OS17 033117